横浜市歴史博物館等
指定管理者選定評価委員会
審査報告書

平成 27 年 8 月

目 次

1	経緯	2
2	選定評価委員会委員	2
3	選定の経過	2
4	非公募選定について	2
5	審査にあたっての考え方	2
6	欠格事項への該当の有無について	3
7	選定結果	3
8	審査講評	3

(資料) 審査得点表

1 経緯

横浜市三殿台考古館、横浜市歴史博物館、横浜都市発展記念館、横浜ユーラシア文化館及び、横浜開港資料館の指定管理者の選定にあたり、横浜市歴史博物館等指定管理者選定評価委員会（以下、「選定評価委員会」という。）は、応募団体から提出された応募書類に基づくヒアリング及び審査を行ってまいりました。

この度、審査が終了し、指定候補者を選定しましたので報告します。

2 選定評価委員会委員

委員長	吉田 鋼市	(横浜国立大学名誉教授)
委員	相澤 正彦	(成城大学文芸学部教授)
	薄井 和男	(神奈川県立博物館館長)
	小山 明枝	(税理士法人横浜会計事務所代表税理士)
	澤野 由紀子	(聖心女子大学文学部教授)
	嶋田 昌子	(NPO法人横浜シティガイド協会理事)
	末崎 真澄	((公財)馬事文化財団理事・馬の博物館副館長)
	鈴木 良明	(鎌倉国宝館館長)
	高木 美紀子	(税理士法人横浜会計事務所代表税理士)
	桧森 隆一	(北陸大学副学長)

3 選定の経過

第1回指定管理者選定評価委員会	平成27年4月17日
応募要項等配付	平成27年5月13日
応募書類の受付	平成27年6月19日
第2回指定管理者選定評価委員会	平成27年7月29日
第3回指定管理者選定評価委員会	平成27年8月28日

4 非公募選定について

第2期指定管理期間の指定管理者選定に引き続き、非公募で選定しました。

※平成22年3月26日開催の第32回都市経営執行会議に所管課が付議し承認

『横浜市指定管理者制度 運用ガイドライン【第8版】』第4章（抜粋）

指定管理者の選定にあたっては、以下の理由により「原則公募」とする。

（中略）

ただし、以下のような場合には、公募とすることのデメリットがメリットを上回ることも考えられるため、その場合には、各施設設置条例の規定する範囲内で、「非公募」による選定とすることも可能とする。

（中略）

なお、新たに非公募とする場合には、政策局共創推進室と協議し、原則として経営会議に付議した上で、選定委員会に諮ることとする。

（中略）

極めて高度の専門性を要すること、または利用者等との関係性の維持が極めて重要であることなどの事由により、将来（当該指定期間内）にわたり他の担い手が存在しないことが見込まれる場合

5 審査にあたっての考え方

選定評価委員会では、指定管理者応募要項（以下、「応募要項」という。）においてあらかじめ定めた「評価基準」に従って、応募団体から提出された応募書類を審査し、指定候補者を選定しました。

評価基準については、44の評価項目に対して5段階評価とし（最高点は220点）、各委員により評価を行いました。その際、最低基準を設けることとし、全委員の評価の合計点が最高点（2200点）に対し6割（1320点）に満たない場合は審査を通過できないものとし、審査については、事前に選定委員会によるヒアリングを開催し、応募団体への質疑を行いました。

6 欠格事項への該当の有無について

応募団体について、応募要項に定める欠格事項への該当の有無について、いずれの項目にも該当しないことを確認しました。

8 選定に関する事項

(5) 応募条件等について

イ 欠格事項

次に該当する場合は、応募することができません。

(ア) 法人税、法人市民税、消費税、地方消費税等の租税を滞納していること

(イ) 労働保険（雇用保険・労災保険）及び社会保険（健康保険・厚生年金保険）への加入の必要があるにもかかわらず、その手続きを行っていないもの。

(ウ) 会社更生法・民事再生法による更生・再生手続中であること

(エ) 指定管理者の責に帰すべき事由により、2年以内に指定の取消を受けたものであること

(オ) 地方自治法施行令第167条の4の規定により、本市における入札参加を制限されていること

(カ) 選定委員が、応募しようとする団体の経営または運営に直接関与していること

(キ) 暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。）又は暴力団経営支配法人等（横浜市暴力団排除条例（平成23年12月横浜市条例第51号）第2条第5号に規定する暴力団経営支配法人等をいう。）であること

※本項目については、提出いただく「申請団体役員名簿（様式6）」により、横浜市から神奈川県警本部に対し調査・照会を行います。

(ク) 2年以内に労働基準監督署から是正勧告を受けていること（仮に受けている場合には、必要な措置の実施について労働基準監督署に報告済みでないこと）

7 選定結果

(1) 選定結果

選定評価委員会において、ヒアリング及び審査を行った結果、**公益財団法人 横浜市ふるさと歴史財団**を指定候補者として選定することに決定しました。

(2) 審査得点表

別表のとおり

8 審査講評

本提案の内容については、指定候補者が施設の管理・運営における方向性や取り組むべき課題などを概ね的確に把握していることから、全体的には評価できます。特に、市民の学習や学校教育への支援、市民協働の取組みについては充実していると考えます。一方、寄付金、協賛金などの外部資金の導入や、5施設一括での管理運営による、連携を強化した上での各施設の特徴をいかした業務遂行及び効率化については、一層の取組みを進めて欲しいと考えています。また、10年間を見据えた中長期的な人材の確保、次世代を担う人材の育成も重要と考えており、継続した取組みが必要です。

本委員会は、提案内容の具体的な実施や、10年間での社会変化への対応について、継続的に評価していきます。

なお、横浜市に対しては、指定管理者との円滑な意思疎通や情報共有、老朽化に伴う施設の改修、資料の増加に備えた収蔵施設の確保等、適切な運営のための財政の確保に努めてもらいたいと考えます。

(別表) 審査得点表

区分		選定評価委員									
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
I 基本方針と目標の設定について	1 施設の役割・課題と運営の基本方針について (5点満点×1項目=5)	5	4	4	4	4	4	5	4	4	5
	2 10年間の目標の設定について (5点満点×1項目=5)	5	3	4	4	5	4	4	3	3	4
	3 目標の点検・評価について (5点満点×2項目=10)	9	7	6	6	9	8	8	4	6	6
II 重点方針について	1 5施設の連携について (5点満点×3項目=15)	13	11	11	12	14	12	12	9	11	10
	2 自主財源比率の向上について (5点満点×3項目=15)	12	9	9	9	14	11	11	9	8	9
	3 市民の学習支援について (5点満点×2項目=10)	6	8	6	8	9	8	8	8	8	8
	4 学校教育との連携について (5点満点×2項目=10)	10	7	8	9	10	9	8	10	8	9
	5 市民協働の推進について (5点満点×2項目=10)	8	8	8	8	10	9	8	8	8	7
III 施設運営に関する取組について	1 休館日の設定について (5点満点×1項目=5)	4	4	3	4	3	4	4	5	4	4
	2 開館時間について (5点満点×2項目=10)	6	8	6	6	10	8	8	10	8	7
	3 利用料金等について (5点満点×1項目=5)	5	4	2	5	5	4	4	3	4	5
	4 施設等の貸出について (5点満点×1項目=5)	3	4	3	4	4	4	4	2	3	3
	5 経費の節減、適正執行について (5点満点×1項目=5)	3	3	2	3	4	4	4	2	4	4
	6 資産の有効活用について (5点満点×2項目=10)	8	7	8	7	9	8	7	6	7	7
IV 事業に関する取組について	1 常設展示の運営について (5点満点×2項目=10)	8	8	6	7	9	7	8	6	8	8
	2 企画展の計画・実施について (5点満点×2項目=10)	10	8	7	8	9	7	8	4	8	9
	3 資料の収集・保存・公開について (5点満点×1項目=5)	5	4	3	4	4	3	4	5	4	5
	4 資料の閲覧について (5点満点×1項目=5)	3	4	4	4	5	4	4	5	4	4
	5 調査研究業務の実施について (5点満点×1項目=5)	5	4	3	4	5	5	4	5	3	4
	6 出版・刊行について (5点満点×1項目=5)	5	3	4	3	5	4	3	5	3	5
	7 普及啓発事業について (5点満点×1項目=5)	3	4	4	2	4	4	4	5	4	4
	8 広報宣伝活動について (5点満点×1項目=5)	2	4	4	3	5	4	4	3	3	3
	9 賑わいの創出について (5点満点×1項目=5)	4	3	3	4	5	4	4	3	3	4
V 施設管理に関する取組について	1 保守管理について (5点満点×1項目=5)	5	4	3	4	4	3	3	5	4	3
	2 環境維持管理について (5点満点×1項目=5)	4	4	4	4	5	4	3	5	4	4
	3 施設の修繕・改修計画について (5点満点×1項目=5)	3	4	3	4	4	3	3	5	2	3
	4 事故防止体制、緊急時、災害時の対応について (5点満点×1項目=5)	5	4	3	4	4	4	4	5	4	4
VI 運営組織について	1 組織構成と組織運営の方針について (5点満点×1項目=5)	5	3	3	3	5	4	4	3	4	4
	2 運営組織図及び配置人員について (5点満点×1項目=5)	3	3	3	3	4	4	3	3	4	3
	3 必要な人材の職能について (5点満点×1項目=5)	3	3	3	3	3	4	3	3	4	4
	4 施設運営の実員配置について (5点満点×1項目=5)	5	4	3	3	4	3	3	3	4	4
VII 収支予算の方針と計画について	1 収支予算計画書について (5点満点×1項目=5)	3	3	3	3	4	4	3	2	3	3
合計(220点満点) <44項目>		178	161	146	159	198	172	167	158	159	166
総計(2200点満点)		1664									
得点率 <最低基準60%未満>		75.6%									